

館長室へようこそ ②3

『ミャンマーにて』

図書館長 古川 聡

ミャンマーの大地をエーヤワディー川が北から南へと蛇行しながら流れている。かつてイラワジ川という名で学んだ川だ。地図上に描けば一本の線であるが、訪れてみると川幅が数キロにも及ぶ予想以上の大河であった。そこを砂を含んだ茶色の水が滔々と流れていく。

その中流にある古都、バガンという街から小船に乗って上流を目指した。すると、世界三大仏教遺産のひとつとされる数多くの仏塔(バゴダ)が林の中に見え隠れし、地上からとは異なる風景が広がった。川縁では洗濯をする女性、体を洗う男性、その横で水遊びをする子どもたちの姿。川底の砂を集めて工事現場に運ぶ人も数多くいた。漁をするために何隻もの船が行き交う。川は彼らの生活そのものであった。上流へ遡ること一時間、そこから船のエンジンを切り、川の流れに任せて下る。ゆったり流れる川面を船は漂いながらバガンに戻る。波が船にぶつかる音と鳥の鳴き声しか聞こえない。人工物が発する音がない静寂の世界だ。そのバガンの街が大地震に見舞われた。帰国した翌日の悲劇であった。静かな夕方の祈りの時間を地震が破壊し、仏塔が崩れ落ちる乾いた音が静けさを突き破つたに違いない。遺跡が崩れたというニュースが流れ、数日前に自分が立っていた場所が無惨な姿をさらしている。だがそれよりも、案内してくれた温厚なあ男性ドライバーはどうしているだろうか。家族は無事なのか。家は壊れていないのか。ロンジーという衣装をまとった人々が寺院でお祈りをし、私たち外国人を優しい笑顔で迎えてくれる。地震の前も、そして今も、バガンの街は静けさに包まれているだろう。自然の音を聴きながらこれまでの自分を振り返る。そして明日からの自分を見つめる。静けさに包まれた充実の時間であった。このような時間を過ごせて心から感謝している。

図書館のら・ご・き

◇今年の4月以降、図書館の利用時間の一部見直しをしています。

◎ 出庫受付時間の変更

4月から学部学生の出庫時間を延長しました。学部学生・院生・教職員共通で閉館の10分前まで出庫可能です(※学内者のみ)。

19時までの開館：18:50まで / 17時までの開館(含む土曜日)：16:50まで

◎ 1月の開館時間の延長

1月は試験や論文提出等が重なる時期。今年度から卒論提出日の1月31日まで、図書館は19時まで使えます。みなさん、どうぞご利用ください!

